広報









者 群馬県藤岡中央高等学校 地域連携部

TEL 0274-24-6660 FAX 0274-24-6661

URL : http://www.nc.ftyuou-hs.gsn.ed.jp/

平成30年 4月23日発行 第 294



## 平成30年度入学式 200名が新たなスタート!





新入生代表誓いの言葉を述べる髙橋さん

平成30年度入学式が、4月10日(火)に挙行されました。緊張した表情で入場した200名の新入生は、担任から一人ひとり名前を呼ばれた後、市川敏美校長から入学を許可され、藤中生としての一歩を踏み出しました。

新入生に対して市川 校長は「『自信を持っ て自分の考えを発信で きる生徒』、そして 『目標に向かって意欲



新入生入場の様子

新入生を代表して髙橋舞さん(藤岡西中出身)は「これから 三年間一緒に励んでいく仲間との友情を深め、互いに支え合い ながら、将来の夢に向かって努力していきたい。」と高校生活 への決意を述べました。

# F.C. Lab 日本物理学会Jr.セッション 奨励賞! ロボカップジュニア 全国大会出場!

3月23日(金)に日本物理学会Jr.セッションが東京理科大学野田キャンパスで行われました。F.C.Lab(理数科生徒が参加する部活動)の瀧上大介くん(小野中出身)、井上驗くん(吉井中央中出身)、板倉龍聖くん(小野中出身)が「牛乳はなぜ白いのか」という身近な題材と光との関係についての発表を行い、見事奨励賞を受賞しました。瀧上くんは「地道な研究成果がこうして結果として現われてうれしく思います。また、



ロボカップジュニア参加メンバー

他校の発表も見ることができ、刺激を受けました。この経験を活かして今後の研究に取り組んでいきたいです。」と語ってくれました。



物理学会Jr.セッション 表彰式後の様子

また、森本一生くん(藤岡北中出身)、瀧上大介くん(小野中出身)、井上驗くん(吉井中央中出身)は3月30日(金)~4月1日(日)に和歌山県で開催されたロボカップジュニア全国大会に群馬県代表として出場しました。自立型ロボットによるサッカー競技において3勝3敗と惜しくも決勝に進むことはできませんでしたが、大きな舞台で戦うことができ、貴重な経験になったようです。

藤岡中央高校では、以下のようなグランドデザインに基づいて、生徒 -人ひとりの可能性を伸ばし、 夢の実現をサポートします! 今年度も藤岡中央高校の活動にご期待ください!

#### 目指す生徒像

# 自信を持って自分の考えを発信し、 目標に向かって意欲的に取り組む生徒



隹

年

#### 進路実現に 向けて主体的に 取り組む。

- ●大鱗対策に主体的に取り 掛む.
- 小論文・団接・プレゼン

#### 課題解決の方法を 学ぶ。

- ●リサーチ学習に取り推 お、羅羅森 彦一リ サーチー 分析一発表の流れを学習
- ●仲間と協力して主体的 に取り推む学習態度を表

#### 基礎語彙力をつける。

- ●アウトブットを通して、 語彙力の重要性を学び、身
- に付ける。 ・読書(本プレゼン)
- 語彙號解力検定
- ・適路プレゼン

総合的な学習

#### 自らの課題を発見し、 主体的に学習する。

- ●租任や教料租任とやり とりし、自ら課題を創りた
- ●自分のやるべきことに 見通しを持って取り担じて

#### 自分の特性に応じた 学習方法を考える。

- ●自らの特性を理解する。
- ●与えられた課題だけで ほなく、得意科目を伸げ し、苦争科目を克服する学 習を自ら考えて行う。
- 定期テスト・検試の接近り
- 値別菌数の活用

#### 学習習慣を身につけ、 勉強方法を学ぶ。

- ●授業を通して、勉強方法 を学ぶ。
- ●与えられた課題に対し て載実に取り推み、学習習
- 慣を身につける。

### 授業・学習

#### 集団をまとめ、リーダ ーシップを発揮できる 1年にする。

- ●様々な集団の中で、各自 が個々の魅力を発揮し、ま とめる原動力になる。
- 都長や実行委員など 中心的な役割に積極的に 取り担む。
  - ・藤州祭、体育祭
  - ・役職 (部長・実行委員等)

#### 藤中生の中心になる 1年にする。

- ●集団における自分の役割 を理解し、行動する。
- ●自分の可能性を追求する。 d · Ťiĝ⊜
  - 條学旅行

#### 顔中生になるための 1年にする。

- ●ルールとマナーを徹底し、 協調性を振う。
- ●ボランティア精神を振う。
- **8**・時間競守 ・あいさつの動行
  - ・「しっかり生きる10のルール」 ・クリーン作戦

#### 部活動 · 特別活動

#### セルフマネ ジメントできる。

- ●手幌を活用し、自己管理
- 受験のスケジューリング
- ・P (計画) →D → C → A の習慣の完成
- ・情報エリアの活用

#### 自己理解を深め、改善 する力をつける。

- ●手幌の記録から、自己の 特徴を分析し理解する。
- ●具体的な行動目標を決 め、行動する。
- D→C→A (改善)
- ・学習エリアの積極的活用

#### 行動し、振り返る力を つける。

- ●ドリサポ争幌に記入し、 生活を横り返る。
- ・D (行動)一C (概認り)

ドリームサポート

優れた知力と自主自立の精神を持つ 心身ともにたくましい生徒を育てる